快適環境だより

★★第１１７号★★
平成２３年４月２０日

発行　高山市快適環境づくり市民会議事務局
TEL0577-35-3138　Fax0577-35-3169

暖かい日が続き、春風が心地よい季節となりました。

先月、３月１１日には東日本において大地震が起こり、大変な被害となりました。被災された地域の皆さんに早く笑顔が戻るように応援していきたいですね。

さて、４月２２日は「アースデイ」、５月２２日は「国際生物多様性の日」です。「国際生物多様性の日」は、生物の多様性が失われつつあること、また、それにまつわる諸問題に対する人々の認知を広めるために、国際連合が制定した記念日です。

生物多様性ひだたかやま戦略

高山市では、ふるさとの生物多様性を守り伝えるために、昨年３月に「生物多様性ひだたかやま戦略（基本構想編）」を、今年３月に「生物多様性ひだたかやま戦略（実施行動計画編）」を策定しました。高山市の生物多様性の現状及び課題、保全のための方針や体制づくりなどについてとりまとめ、将来の高山市における生物多様性の保全と持続可能な利用に道筋をつけるものとなります。今回は、この戦略の内容について少しふれてみたいと思います。

＜COP10 ﾛｺﾞﾏｰｸ＞

基本理念 ➢ **生物多様性を保全し、そのめぐみを将来にわたって享受することができる自然と共生するまち「ひだたかやま」**

- **「共生」…自然と共存できる地域づくりの実現**
- **「循環」…環境負荷の少ない循環型地域づくりの実現**
- **「参加」…環境保全に協働する地域づくりの実現**

目標

- **①ふるさとの生物多様性を保全しているまち**
- **②自然のめぐみを持続的に利用しているまち**
- **③自然のめぐみの大切さを市民が尊重しているまち**

目標①は、高山市らしい生物多様性をいかに保全していくかを示す目標、目標②は、その持続可能な利用をすすめるための目標、目標③は、生物多様性の考え方を市民生活や事業活動、市政の基本としていくための目標です。この３つは、どれも互いに密接につながりあっており、実現に向けてどの項目もバランスよく推進していく必要があります。

高山市では 100 年余り昔には、戦略の中に引用している飛騨後風土記に記された豊かな生物多様性を活かした飛騨の暮らしがありました。私たちはこのことをふまえ、目標期間についても豊かな生物多様性と人とのつながりを取り戻す期間として 100 年を設定しました。計画の見直し期間としては国等の動きを見ながら 10 年を目処に見直しをすることとしており、100 年後には、100 年前の豊かな生物多様性の姿を取り戻すことを目標としております。

◎「高山市快適環境づくり市民会議推進大会」を開催しました。

去る３月１日、高山市民文化会館にて「高山市快適環境づくり市民会議推進大会」を開催しました。

市民会議の２２年度活動報告と、今後の活動方針の説明のあと、「すのり川博士になろう！」と題した南小学校４年生による環境保全活動の発表と、Ｊ．Ａ．Ｔ．Ｄ．にしゃんた先生による講演会を行いました。

南小学校４年生は８４名の児童の皆さんが、苔川について調べたことや感じたことなどをクイズなども交えながら発表し、苔川を大切にしようという思いが伝わりました。

講演会では、「みんな地球に住む家族～スリランカからのことづけ～」と題し、スリランカ出身のＪ．Ａ．Ｔ．Ｄ．にしゃんた先生が、スリランカの情勢や、日本について感じたことなど、いろいろな視点から地球環境への関わりについてお話していただきました。

◎植樹の神様「宮脇昭さん」の講演会を開催しました。

主催：地域政策課

去る２月２５日、飛騨総合庁舎において、「植樹の神様：宮脇昭さん講演会」を開催しました。

宮脇昭さんは（財）国際生態学センター長で乗鞍山麓五色ケ原の森の自然保護審議会の会長です。

今回は、前回１月１２日に開催し、大好評を博した講演会の第２弾ということで、「地域経済と共生するいのちの森づくり～学校・高山市から世界へ～」という演題でお話しいただきました。

生物多様性の保全を図るとともにその地にあった本来の自然を再生することによって未来に自然を残すための宮脇先生の活動について熱く語っていただき、最後には参加者全員で記念撮影をし、「いのちの森づくりを高山市から世界へ発信する！」という意気込みをみなさんで確認しました。

▼５・６月の予定▼

飛騨高山クリーン作戦（５月下旬又は６月上旬）、グリーンマーケット（６月）

→詳しくは「広報たかやま」、高山市ＨＰ等に掲載します！！